

100

つなぐ「奉仕の心」これからも

2024年向陽高等学校創立100周年



風に向かって

学校法人向陽学園

歴史編集室発行

TEL0957(52)3210

「和」をもって貴しとなす

この記事は、昭和56年に本校「インターアクトクラブ」が発足して10周年を迎え、大村ロータリークラブから表彰された時の「烏山英也」副校長(当時)の記事です。

本校インターアクトクラブは、昭和46年6月に結成され今年49周年を迎えます。

日本や世界では、今「新型コロナウイルス感染症対策」で日常の生活にいろいろな影響を受けています。

さらに差別や偏見も見られます。

いまこそ、友好的人間関係を構築する「和」と実践的徳としての「慈悲」の気持ちが大切ではないでしょうか。

100
学園メモリー

集めた切手が40万枚余り



本校インターアクトクラブが発足して10年を迎え、後援者である大村ロータリークラブより表彰されました。ロータリークラブはいろいろな職種の代表者が会合し、そこを自己研鑽の場となし自己の職業を向上

させることを目的として結成された世界的な組織で156ヶ国89万人の会員がいます。インターアクトクラブは、このロータリークラブがスポンサーになり、社会奉仕と国際間の理解に寄与し、互いに友好のうちに活動する機会をもつことを目的として組織された国際的な組織です。

本校インターアクトクラブは、老人ホーム、子供の家、通学路の清掃などの活動を通じて着実にその実績をあげて参りました。又この他にも古切手の収集もあります。これまで40万枚余り集まり、これらは皆イギリスで換金されネパールの医療に献げられました。こうした活動は他の多くの活動に比べますと地味で目立たないものです。(中略)

最近の風潮として権利と義務ですべての物事を計る傾向があります。問題解決の方法として大切な事ですが、それ以前にもっと重要なことは、互いに人間同志が助け合うという相互扶助の精神が必要です。日本の場合古く聖徳太子の時代「『和』をもって貴(とうと)しとなす」とされ、人間を対立関係としてとらえない「和」が大切なことが説かれています。これが日本の文化に影響を与え、人間関係の規範として重要な役割を果たし、人々が融和しお互いに助け合って行こうとする精神が大切にされてきました。

このように考えますと、本校インターアクトクラブ10周年記念式典において、多くの方から賞賛を受けました事はそれに値するだけの偉大な実績を残したものだと思います。

本校インターアクトクラブが更に活動を重ね、このことが波紋を生じさせる石となり幾重にもその輪が広がって行くことを期待します。

昭和56年向陽新聞第60号より「烏山英也」副校長のことは(抜粋)

100
KOYO GAKUEN
100TH ANNIVERSARY

<シリーズ>2024年「向陽高等学校創立100周年」へ向け

小森 貴美子さん(昭和32年被服科第8回卒)

向陽高校の応援歌作詞者として、当時の思い出を書いて欲しいという依頼がありました。お引き受けしたものの、80歳を過ぎている私に書けるかと案じながら卒業アルバムを引っ張り出してきて、ページをめくっていると一気に17歳の私にもどり、高校生時代の思い出が色々頭の中を駆け巡り始めました。

想えば私共の高校時代は男女共学ではなく女子高でした。その中で特にソフトボール部は向かうところ敵なしという強さでした。そして県代表で国体に行く事になりましたが、まだ応援歌が無いと言うことで歌詞の募集があり、それに応募したところ私の歌詞が選ばれました。そして、国体の壮行式で大村駅で応援歌を歌いソフトボール部を送り出した思い出があります。あの頃は、物が無い時代だったので破れたボールを修理して練習したそうです。今は、なにかも懐かしい思い出です。

※壮行式では応援リーダーとして活躍されたそうです。



昭和31年大村駅での国体壮行式

こうようようちえん

「明るく なかよく 元気よく」 じゃがいもほり

園生活にも制約がある中、年長さんのじゃがいも掘りがありました。バックに溢れんばかりのお土産を持って帰りました。(5月12日)HPより



長崎リハビリテーション学院

“挑戦と変化”で次代の人材を育てる

一般の方から、学生用のマスクをなんと400枚！手作りにいただきました。心温まる手作りマスクを着用してみた職員からは、息がしやすい、肌触りが良い、ということで好評です。長崎リハビリテーション学院の学生のことを考えて下さっている皆さまのお気持ちと行動に、心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。(5月1日)HPより



【看護専攻科】

たしかな学びで心豊かな看護の道を

5年一貫教育課程でAHA-BLS(ヘルスケアプロバイダー)資格も取得できます。

「やることと与えられない時に自分で考えてやることと求められる。その方が野球だったり勉強だったり伸びると思う。時間をうまく活用して欲しい。」

佐々木朗希 千葉ロッテマリーンズ

(朗希・松井秀喜氏に通じる強くてぶれない「言葉」より)

KOYOファイト!

「一歩前へ!!!」

令和2年度(第72回)長崎県高等学校総合体育大会について

今、選手の皆さんは、心のどこかに大きな穴が空いたような心境であり、そのような状況の皆さんに、どのような言葉をかけてよいのかわかりません。

しかし、これまで、チームまたは個人で、それぞれの目標に向かって努力してきた過程(プロセス)は、間違いなく正当に評価できるもので、何物にも変えられない貴重な財産であり、きっと、皆さんの将来を支える礎になるはずで

す。直ちに、気持ちを切り替えることは難しいですが、できるだけ早く、自分は「何をやるべきか、何ができるのか」を考え、一歩一歩前へ踏み出してください。勇気を持って、一歩を踏み出すことにより、次のステージが見えてきますし、新しい世界が必ず皆さんを待っています。

部顧問をはじめとする教職員やコーチ等指導者の皆さん、保護者の皆様におかれましては、子どもたちの背中を後押ししていただければと思います。県高総体は中止という結果になりましたが、新型コロナウイルス感染症に対しては、引き続き「自分を守る、他人を守る」対策に取り組んでください。(本文より一部抜粋)

令和2年5月15日 長崎県高等学校体育連盟 会長 後藤 慶太



<シリーズ>2024年「向陽高等学校創立100周年」へ向け

音辻(琴岡)ミチ子さん(昭和32年被服科第8回卒)

私は随分年を重ねましたが、向陽高校で学んだ色々な出来事は今も忘れる事はありません。諸先生、先輩方に恵まれ私の今日があると信じています。

私の高校生活は3年間ソフトボール漬けの毎日でした。その中でも3年生の秋に国体に出場し天覧試合をしたことが、私の唯一の誇りでございます。これもひとえに理事長先生、諸先生方のご指導のお陰だと感謝いたしております。学園の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

※現在「たちばな同窓会副会長」としてお世話になっています。

<ソフトボール部:昭和30、31年高総体優勝・全国大会出場、昭和31年国体出場>



昭和31年全国大会(西宮球場にて)



昭和31年国体(姫路高校にて)